

政策評価調書(22年度実績)

政策名	生涯を通じた健康づくりの推進		政策の目的等	生活習慣の改善など疾病予防対策と医療提供体制の整備により、県民一人ひとりの「健康寿命」の延伸をめざす。	主管部局名	福祉保健部
	政策コード	II-4			担当課室名	健康対策課

【政策を取り巻く社会経済情勢】

今後の動向	<p>本県は高齢化が急速に進行しており、県民一人ひとりが生涯にわたり健康で自立して暮らすためには、生活習慣病予防や介護予防を通して「健康寿命」を伸ばすことや、加齢によるがんの発生リスクの増加を抑制するため、がんの早期発見、早期治療が重要となっている。</p> <p>また、医療を必要とする人がどこに住んでいても適切な医療サービスを受けられるよう、供給体制の充実が求められている。</p> <p>さらに、今後発生が危惧される強毒性の新型インフルエンザの発生に備えることが、健康管理上重要な課題となっていることから、医療対策の確保と危機管理体制の整備が急務となっている。</p>
-------	---

【政策を構成する施策の評価結果】

施策名		評価結果		政策との関連度
		業績評価	主管部局評価	
1	元気に暮らす健康づくりの推進	達成	現状維持	◎
2	安心で質の高い医療サービスの提供	達成	拡充	○

【構成する施策に対する意見・提言】

<p>○生涯健康県おおいた21推進協議会(23.2.17)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病療養指導士と連携して、糖尿病対策の推進を考えてはどうか。 ・がんについては、一般の人はがんの怖さを理解していないので、啓発活動が必要である。 ・子宮頸がんワクチンについては、よく理解できていないことが多いので、専門家からのアドバイスがほしい。 ・健康応援団登録事業所(たばこ部門・栄養食生活部門)についても、広報が大切である。 <p>○大分県がん対策推進協議会(22年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん対策は早期発見が大切である。特定健診が導入されてからがん検診の受診率が低下しているが、解決策や対策が必要である。 ・地域がん登録は、医療機関の協力が必要であるから、十分な説明をすべきである。 	<p>○「安心・活力・発展プラン2005」推進委員会(22.7.7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命の向上だけでなく、要介護者等の満足度も重要 ・産科、小児科の医師不足が深刻であるため、新たな課題として位置付けるべき。
---	--